

「地域移行支援」の支援状況

	1	2	3	4	5	6
生年月日 /年齢（令和7年10月末現在）	S42.3.26/57歳	S56.4.3/44歳	S43.5.17/57歳	H7.3.14/30歳	S48.1.24/52歳	S39.4.12/60歳
性別	女	女	女	男	女	女
病名	統合失調症	統合失調症	発達障害	統合失調症	アルコール依存症	統合失調症
地域移行前の状況	井之頭病院	長谷川病院	長谷川病院	井之頭病院	井之頭病院	長谷川病院
手帳	2級	なし	なし	2級	なし	2級
年金	2級	2級	なし	なし	なし	
入院日	令和4年7月12日	令和5年10月	平成26年11月	令和5年5月	令和5年9月	令和2年2月
地域移行支援支給開始	令和5年6月19日	令和6年9月2日	令和7年1月20日	令和6年12月10日	令和7年1月20日	令和7年3月24日
地域移行支援事業所	支援センターそら	らく福祉会相談支援事業所	長谷川病院特定相談支援事業所	支援センターそら	支援センターあさやけ	支援センターそら
前回協議会時	地域移行支援介入開始	導入保留	GH見学	継続	新規	継続
令和7年10月末現在 (第2回協議会)	グループホームに退院	地域移行の支給決定後間もなく自宅へ退院。しかしすぐに調子を崩し再入院となった。病院としてはGHへの退院の方針としているが本人が躊躇しており、体験宿泊など調整できずにいる。	令和7年4月1日～1年間地域移行支援を延長。候補物件の不動産審査が通らずアパート探しが難航。支援者からは改めてGHの利用を検討するよう提案されているが、本人はアパート希望。	複数のGH見学・体験を経て、近隣市のGH入居の話がまとまりつつあったが、母親の反対で白紙になった。その後、病状の著しい悪化があり、12月末の支給決定期間満了で一旦地域移行支援を終了することとなつた。	令和7年4月22日に グループホームに退院	転倒により骨折したため身体治療に専念していたが、支援再開した。しかし令和7年7月の地域移行面談後、興奮して不食・不穏となつたため面談頻度を月2回（病院内）にしてほしいと病院からの要望あり、頻度を少なくして支援継続中。

	7	8	9	10	11
生年月日 /年齢（令和7年10月末現在）	S47.6.7/52歳	S43.9.7/56歳	S30.2.15/70歳	S56/9.21/44歳	S44.2.21/56歳
性別	男	男	男	男	男
病名	統合失調症	ウェルニッケ脳症、統合失調症、精神遅滞	統合失調症	統合失調症	ALS、統合失調症
地域移行前の状況	井之頭病院	武藏野中央病院	武藏野中央病院	小金井病院	斎藤病院
手帳	なし	あり	あり	あり	あり
年金					あり
入院日	令和4年3月	令和4年10月	令和7年8月1日	令和7年7月	平成29年6月
地域移行支援支給開始	令和7年7月1日	保留	令和7年9月9日	令和7年10月1日	令和7年10月3日
地域移行支援事業所	支援センターそら		支援センターそら	支援センターそら	支援センターそら
前回協議会時	導入予定	導入保留	一	一	一
令和7年10月末現在 (第2回協議会)	令和7年7月より新規で地域移行支援支給決定。月2回の面談開始。GHへの退院と単身アパートへの退院の二本柱で本人の希望を聞き取りながら進めている。	令和7年9月病院のPSWに確認したところ、本人が退院先として無料定額宿泊所以外を望まず、退院支援でできる準備が整わないとのことで、導入は白紙となつた。	令和7年9月より新規で地域移行支援支給決定。就労継続B型の職員が手を尽くして生活を支えていたが、生活破綻となり入院。認知機能低下もあり、介護保険下の住まいへの退院を目指して支援する方針。	令和7年10月より新規で地域移行支援支給決定。父への暴行を機に令和7年7月に措置入院。複数回の入院歴あり、家族と同居していたが、グループホーム試泊を経て、10月31日グループホーム入居になった。	令和7年10月より新規で地域移行支援支給決定。重度訪問介護を併用してGH入居予定。その導入・調整のため地域移行支援を利用することとなった。11月7日にグループホーム入居になった。